みんなの保健室　陽だまり

革命患者のコツとチエを学ぶ
～医師に自分の希望を伝えよう～

2017年 6月 24日

患医ねっと　代表
鈴木信行

今日の予定

開始時刻	所要時間	内容
14:00	0:05	開会のあいさつ
14:05	0:45	第1部　鈴木からの講演 『革命患者のコツとチエを学ぶ』
14:50	0:20	第2部ワークショップ 『私は「　　」をやってみます』
15:10	0:10	質疑応答
15:40	0:10	第3部　ワンポイントアドバイス 志村様　『口腔ケア』
15:50	0:10	第4部　体操

自己紹介

1969年生まれ　東京都在住
二分脊椎症　精巣がん　甲状腺がん(治療中)
　　日本二分脊椎症協会元会長
　　精巣腫瘍患者友の会副代表
ペイシェントサロン協会会長
患医ねっと代表
メディエール㈱患者協働推進部部長
みのりCafe店主・コーヒーマイスター
北里大学(薬)・上智大学(看)非常勤講師
元製薬企業研究員

→患者の側からよりよい医療をともに実現する

自己紹介

2015年
11月　別疾患によるCT画像で他院受診勧奨
2016年
2月　他院　呼吸器内科受診→転科
5月　耳鼻咽喉科受診
　　甲状腺がん確定
7月　入院・手術
　　甲状腺ホルモン　等の服薬開始
　　放射線科受診
11月　ヨードの食事制限（1か月間）
12月　入院・放射線ヨード療法

患医ねっと

連絡先

◇鈴木信行

メールアドレス　nob@kan-i.net

→　患医ねっと　www.kan-i.net

→　ペイシェントサロン協会　patientsalon.net

◇参考文献

・鈴木信行,公益社団法人日本薬学会　活薬のひと(2014),
http://www.pharm.or.jp/highlight/20150405.shtml

・鈴木信行,臨床医薬 Vo.32 no.7 p.561-564(2016),
患者さんや家族が本当に必要としている薬の情報とは何か？

・鈴木信行,第12回DIA日本年会(2015),患者を取り巻く環境の変化とは？

・鈴木信行,調剤と情報 (2016.7～12),Vol.22 no.13～18
聞くに聞けない患者の本音

・鈴木信行,朝日新聞アピタル(2011～2016),「のぶさんの患者道場」

本日の内容

1. いまの医療現場の課題

2. お薬手帳でコミュニケーション

3. あなたのステップを考えよう

道具を使って
もっと健康生活を送ろう

患医ねっと

1.いまの医療現場の課題

【質問】みなさんの印象を教えてください。

医師ってどんな人？

薬剤師ってどんな人？

患医ねっと

1.いまの医療現場の課題

◇患者協働の医療へ

患者中心の医療

医療者が患者のために
連携してがんばります！

「〇〇の治療をしましょう」

医師主導型

患医ねっと

1.いまの医療現場の課題

◇患者協働の医療へ

患者中心の医療

患者協働の医療

患医ねっと

1.いまの医療現場の課題

◇患者協働の医療へ

医療者と患者が一緒に
連携してがんばりましょう

「私は〇〇を大事にして
治療を進めてほしいです」

患者主導型

患者協働の医療

患医ねっと

1.いまの医療現場の課題

◇患者協働の医療へ

「でも…言えない…」
「理想はわかるけど…」

まずは薬剤師と
仲良くなろう！

患者協働の医療

本日の内容

1. いまの医療現場の課題

2. お薬手帳でコミュニケーション

3. あなたのステップを考えよう

道具を使って
もっと健康生活を送ろう

患医ねっと

2. お薬手帳でコミュニケーション

◇お薬手帳の主な使い方

①治療に必要となる情報の蓄積・共有

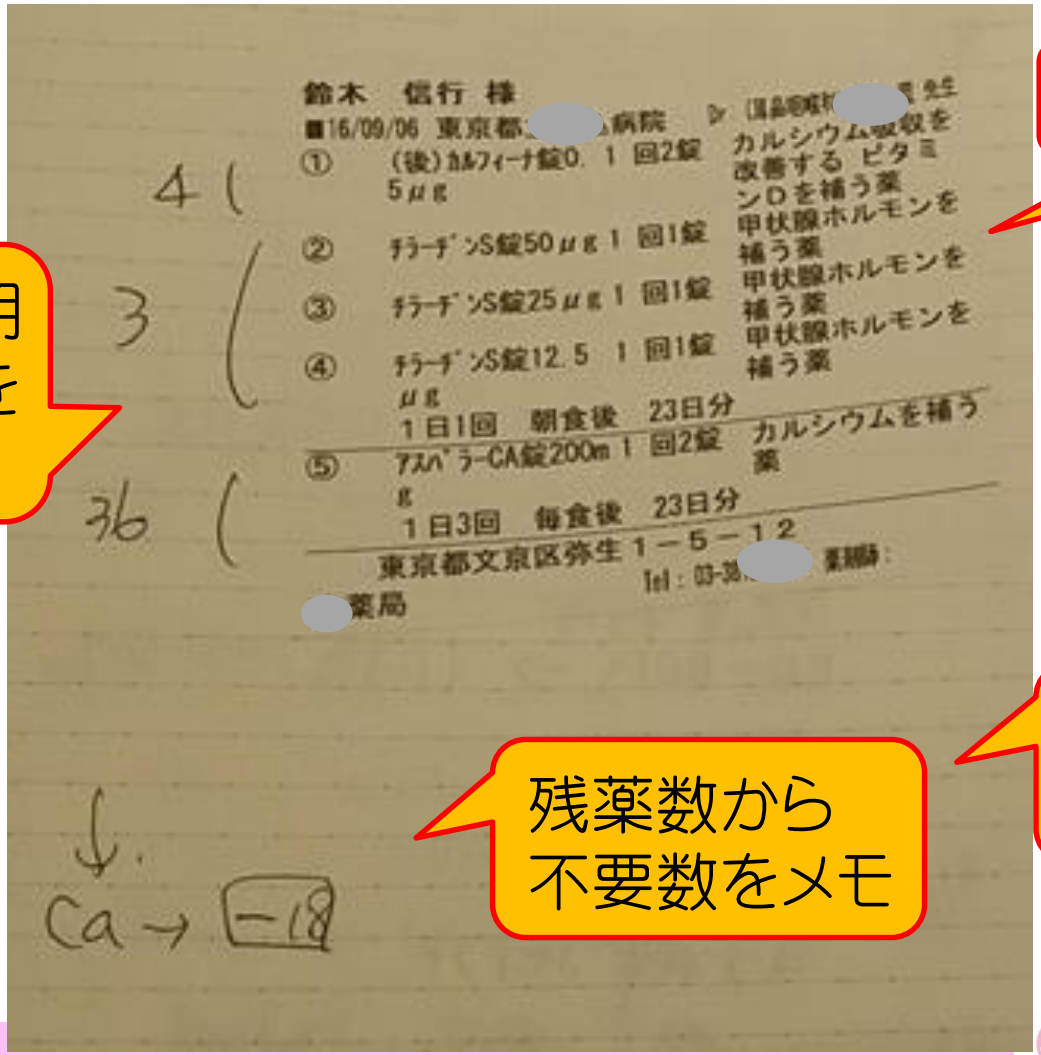
②自分の備忘・メモ

③「健康」で気になったことアレコレの記録

患医ねっと

2. お薬手帳でコミュニケーション

①治療に必要となる情報の蓄積・共有



ノートを自分で用意

通院日朝
残薬数を
カウント

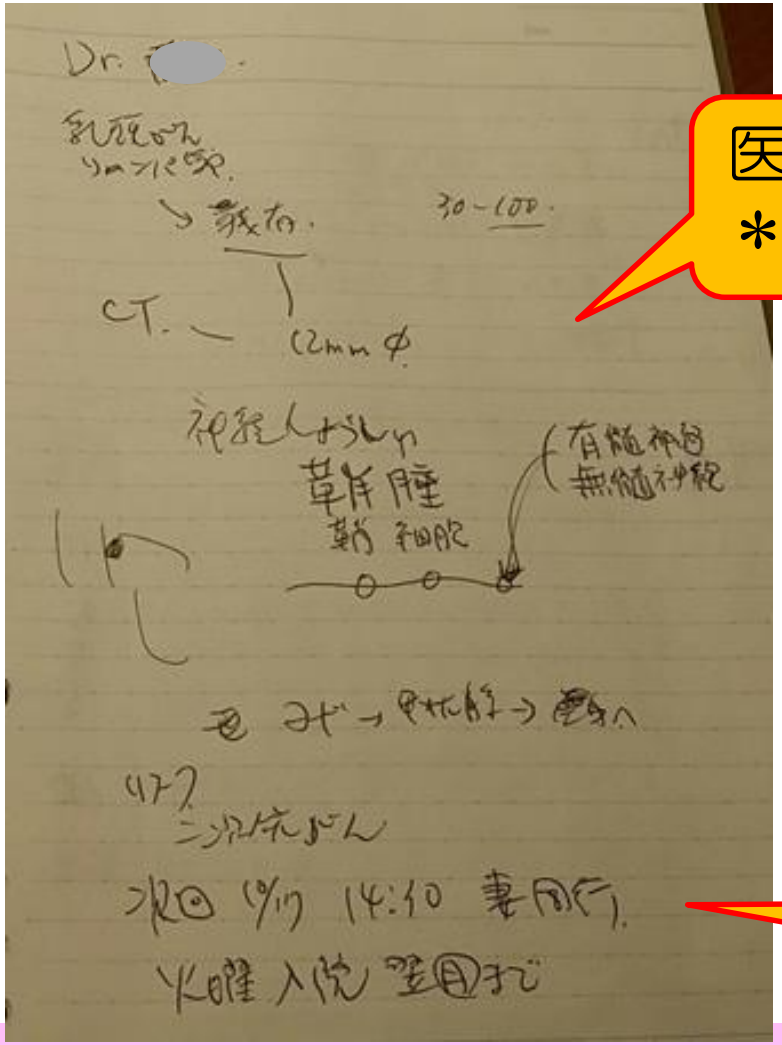
残薬数から
不要数をメモ

不要数を
処方箋から減薬

患医ねっと

2. お薬手帳でコミュニケーション

②自分の備忘・メモ



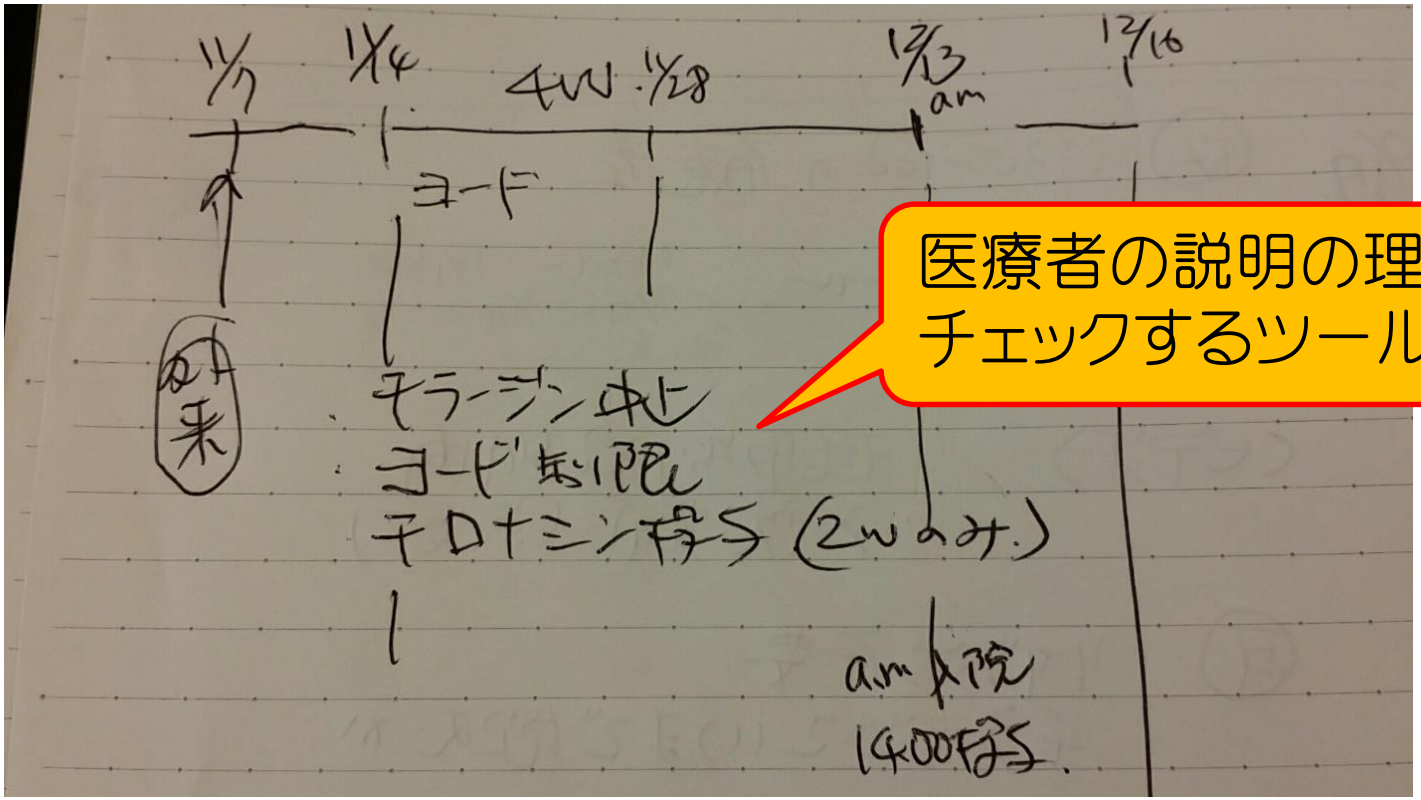
医師・薬剤師の説明をメモ
＊認識している病名は？

今後の治療計画をメモ

患医ねっと

2. お薬手帳でコミュニケーション

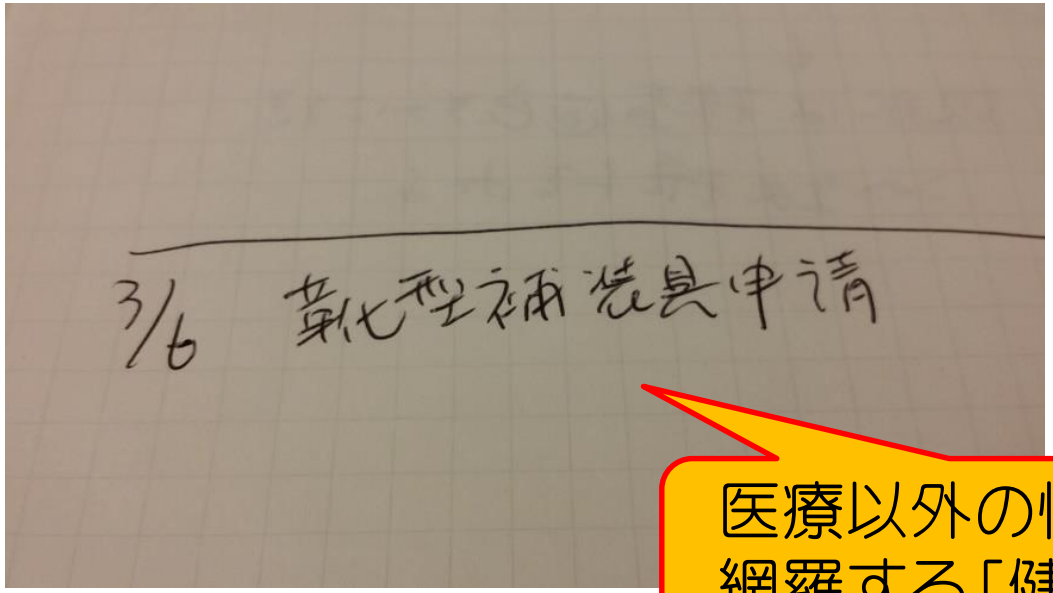
②自分の備忘・メモ



医療者の説明の理解度をチェックするツール

患医ねっと

③「健康」で気になったことアレコレの記録



医療以外の情報も
網羅する「健康手帳」

患医ねっと

本日の内容

1. いまの医療現場の課題

2. お薬手帳でコミュニケーション

3. あなたのステップを考えよう

道具を使って
もっと健康生活を送ろう

患医ねっと

3. あなたのステップを考えよう

(1) ステップの概要

◆ステップ1　…薬剤師と一緒にもっと使おう
「自分も書き込んでみよう」

◆ステップ2　…医師も一緒に使っていこう
「医師にも見せてみよう」

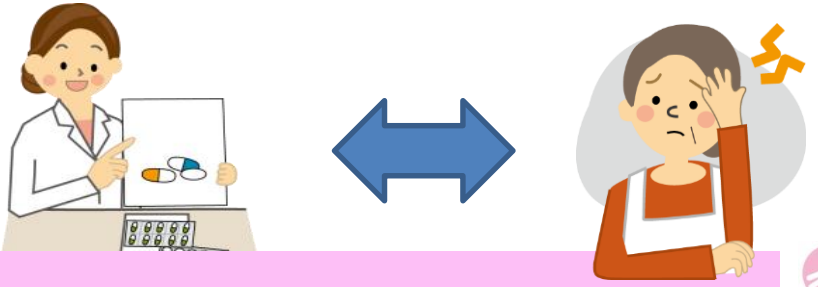
◆ステップ3　…あなたのオリジナル手帳を作ろう
「考えや質問などを共有しよう」

3. あなたのステップを考えよう

(2) 各ステップの詳細

◆ステップ1　…薬剤師と一緒にもっと使おう
「自分も書き込んでみよう」

→薬局へ来る前に、自宅に残っている薬の数を数えて、書き込もう
→薬剤師に、書き込んできたことを伝えよう
→薬が残る理由を正直に話してみよう



患医ねっと

3. あなたのステップを考えよう

(2) 各ステップの詳細

◆ステップ2　…医師も一緒に使っていこう
「医師にも見せてみよう」

→残薬分を減らして処方箋を書いてもらおう
→薬剤師の要らない・減らしてよいという提案を医師へ伝えてみよう
→通院する日の朝や、病院の待ち時間に薬の飲みにくさや、感想、理由を書いてみよう

患医ねっと

3. あなたのステップを考えよう

(2) 各ステップの詳細

◆ステップ3　…あなたのオリジナル手帳を作ろう
「考えや質問などを共有しよう」

→聞きたいことを箇条書きに書き出そう
→医師・薬剤師の説明をその場でメモしよう
→医師の説明を薬剤師に、
薬剤師の説明を医師に、
見せながら話そう
→日ごろの気づきや感想を
メモして、見せよう

患医ねっと

3. あなたのステップを考えよう

(3) さらにステップアップ！

◆ステップ1　…薬剤師と一緒にもっと使おう
「自分も書き込んでみよう」

◆ステップ2　…医師も一緒に使っていこう
「医師にも見せてみよう」

◆ステップ3　…あなたのオリジナル手帳を作ろう
「考えや質問などを共有しよう」

◆ステップ4　…協働の医療を文書で主導する
「要望を読めるようにしよう」

3. あなたのステップを考えよう

(3) さらにステップアップ！

◆ステップ4　…協働の医療を文書で主導する
「要望を読めるようにしよう」

→生活で大切にしていることを箇条書きしよう
→医師や病院への希望を書き出そう
→外来や入院時に渡してみよう
→医療は「チーム」を意識しよう

患医ねっと

3. あなたのステップを考えよう

◇◇◇◇病院　耳鼻咽喉科　御中

今回の加療へのご協力に感謝申し上げます。
現段階での当方としての希望などをまとめました。

＜治療方針＞
・基本的に標準治療を希望します。
・基本的に学会によるガイドラインに沿うことを希望します。
　ガイドラインから外れる場合はできる限り充分な相談をさせていただきたいです。
・治験への協力可能な条件がある場合は、上記に限らず、前向きに検討します。
・QOL面では、特に嚥下や気管切開等の外部発信の継続を希望します。
　よって、声帯、視力、上肢機能への影響をできるだけ避けたいと考えています。
・逃げ後においても、門前薬局は利用しないため、通常の薬局で入手困難な処方薬の
　場合は、事前の相談もしくは一時的に院内処方を希望する可能性があります。
・抗がん剤による加療、またはターミナルを想定した場合は、早期から緩和ケアチーム
　の関わりを希望します。
・入院期間が２週間を超える場合、足腰力低下防止のため、リハビリテーション科の
　紹介を希望します。
・セカンドオピニオンの活用を希望します。

＜コミュニケーション＞
・医師を含めて呼称は互いに「さん」を希望します。
　（耳鼻咽喉科、および入院病棟以外の医療者を除く）
・（本人が入らず）家族のみへの説明などは原則として避けてほしいです。
・医療過誤が発生した場合、本人家族に対して、事実の公開を希望します。
　医療過誤の理由と再発防止の対策を家族が納得できた場合は、その後の請求などはしません

＜入院に際して＞
・感染症が発生する病室は希望しません（化学療法による加療時は例外相談）。
・逃げ時にカルテ開示を請求する予定です。

＜謝礼＞
・市民の医療リテラシー向上を目的にしたコラム執筆の企画が進んでいます。
　朝日新聞社のウェブサイトに、私が診療体験を掲載する可能性があります。
　（病院名、医療者の氏名、他の患者さんに関する情報等は出しません。
　　しかし、個人等を特定できない範囲で写真は掲載予定です）
・接遇職務の診療病院：横浜資市立うわまち病院（当時：国立横浜資病院）耳鼻科

2016年5月19日　鈴木清行

→全医療スタッフへ向けて
→自分の考えを明確化
→診断後まもなく
　（入院などイベント時に）
→主治医へ手渡す

患医ねっと

3. あなたのステップを考えよう

◇医療者に対して伝える事項

①治療方針の根拠となる「人生観」

②治療に必要となる情報

③コミュニケーションに関する考え方

3. あなたのステップを考えよう

①治療方針の根拠となる「人生観」
（治療そのものは医師の意見を尊重）

人生観（優先事項）を明確に

•生活の質の面では、講演や執筆活動等の仕事を継続したいと考えています。
よって、声帯、視力、上肢機能への影響をできるだけ避けたいと考えています。

•私の意思疎通が不可能になった場合は、妻の意思•意見を優先させてください

患医ねっと

3. あなたのステップを考えよう

②治療に必要となる情報
特に、他院・他科に関する事項

治療に際して必要となる他疾患の情報

- 二分脊椎症のため、足腰力の低下が著しいです
入院期間が2週間を超える場合、
リハビリテーション科の紹介を希望します。

- セカンドオピニオンの受診を希望します。

- 個室料が発生する病室は希望しません

患医ねっと

3. あなたのステップを考えよう

③コミュニケーションに関する考え方

自分のコミュニケーションの考え方

- 医師を含めて呼称は互いに「さん」を希望します。（耳鼻咽喉科、および入院病棟以外の医療者を除く）

患医ねっと

3. あなたのステップを考えよう

要望書の提出　の効果（鈴木の実例）

→発声を残す手術法の選択
- 医師が手術の際の方向性を支援
- 手術後の医師「声は残しました」

→診察室での意思疎通が円滑になった
- 患者としては言いやすい対話

→医師は、問題なく受け入れてくれる
（若い医師だから？）

3. あなたのステップを考えよう

医師に自分の希望を伝えよう
医者とうまく付き合うコツとチエ

↓

希望は「文字にしないと伝わらない」

↓

①お薬手帳を有効に使おう

②チーム医療の一員という
意識を持とう

患医ねっと

宣言シート

私は

をやってみます

【　　年　　月　　日】　名前【　　】